

上越ケーブルビジョン FM じょうえつ
令和 5 年度
第 2 回放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和 6 年 2 月 20 日 (火) 14 : 00 ~ 15 : 00

開催場所 上越ケーブルビジョン本社

出席者 委員数 5 名 出席委員数 5 名

審議委員 松屋 徹 委員長
鈴木 陽一 副委員長
保坂 一八 委員
高橋 朋美 委員
柴野 美佐代 委員

JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 鶴見幸恵
メディアセンター 田原麻衣子

1 開会

2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀

3 議題

- (1) 1 月 1 日地震関連の緊急放送について
- (2) その他
 - (a) あの頃青春グラフィティ公開生放送について
 - (b) 高田城址公観桜会特番について

4 議事の概要

- (1) 地震関連の緊急放送について
 - (事務局) 弊社で放送した地震関連の緊急放送について説明します。
 - (a) 1 月 1 日 緊急放送
概要
16:51~20:04 までテレビ同時生放送
ライブカメラの映像や上越市災害対策本部からの中継や
視聴者からの提供写真、取材映像を交えながら被害状況を伝えた。

5 審議内容

- (a) 1 月 1 日
 - ① (審議委員) 放送を生で聞きながら職場に駆け付けた。
落ち着いて状況を伝えていた印象。
運転中は道路も渋滞し、目的地にたどり着けるか不安だったが、
津波や道路・交通の状況などを放送から知る事が出来、心強かった。た。

- ② (審議委員) ラジオを聴きながら職場に向かい、20 時くらいまで FM を聴きながら作業していた。地元根差した放送内容であり、的確に発信されていたと思う。
- ③ (審議委員) 渋滞や路肩駐車を多く見かけた。渋滞している箇所なども伝えてもらえれば、渋滞緩和にもつながるのではないかと。
- ④ (審議委員) 安塚では避難所が開設されていてスキー場から避難してきた人もいた。高速道路が止まっているなど、ラジオから得た情報が頼りになった。
- ⑤ (審議委員) 遮断機が下りたまま、踏切を渡れない場所も多かった。鉄道の運行状況とともに、そのような情報もあると良い。
- ⑥ (事務局) 緊急放送の振り返りを各所とも行っている。いざという時に備えて、放送の体制・内容を引き続き整えたい。

(2) その他

(a) あの頃青春グラフィティ in2024 高田城址公園について

概要 3月30日(土) 13:00~15:55

高田城址公園オーレンプラザから生放送。

コミュニティ FM で放送している番組「あの頃青春グラフィティ」の出張生放送。

地元ゲストも登場し、上越妙高地域の魅力を全国に発信する。

- ① (審議委員) 地元ゲストとしていろんな人が出演したら面白いと思う。
- ② (審議委員) 4000 本もの桜が植えられた歴史を全国に発信しても良いのでは。
- ③ (事務局) 上越市、妙高市の魅力発信に繋がるようなゲストを検討している。

(b) 第99回高田城址公園観桜会 特別番組について

概要 3月30日(土) 10:00~11:00 JCV 本社と高田城址公園を中継で繋ぎ

桜の開花状況や会場のにぎわいなどを伝える。

テレビ・ラジオ同時生放送。

- ① (審議委員) 高田城址公園内にトラや猿などの動物がいた時代もある。
- ② (審議委員) 昔懐かしのエピソードを募集し番組で紹介すれば、幅広い年代層で楽しめそう。
- ③ (事務局) 来年の100回目に繋がるような番組を検討したい。

(c) その他

(審議委員) お花見カラオケ大会の復活を希望。

会場はヶ所だけでなく、中継や ZOOM などを通じて、各地の桜の名所など、様々なスポットから参加できると楽しいのではないかと。

(事務局) 近年のメディアの影響も受け、世代を問わず楽しめるのがカラオケ企画だと思う。検討していきたい。

9 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①事務所への備え置き

②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載

10 閉会